

## プロジェクト課題活動実績

### 課題名：管内園芸産地における新規就農者の確保

山口農林水産事務所農業部

チーム員：林克江、宇佐川恵、明石義哉、高林正典、河谷基次、磯部敏之、池田秀美、吉永美佳、川野祐輔、稲葉晋子、兼光直樹

#### <活動事例の要旨>

山口市、防府市の園芸産地では高齢生産者のリタイアにより担い手が減少している。園芸産地の維持・発展のためには新規就農者の計画的な確保・定着が必要である。受入体制の拡充を図りながら就農者希望者の確保を進めるとともに、現地研修生等の円滑な就農に向けた支援した。

#### 1 普及活動の課題・目標

山口市においては徳佐りんご組合、長門峡梨組合では、園地情報（リタイア時期、園地面積）を把握し、その情報を基に募集活動を行う体制が整備され、デジタル化しWEBページを活用した園地継承の取り組みを進め、募集・受け入れ体制を拡充する。

山口あぶトマト部会阿東支部では、地域での就農ガイダンス等を行い新規就農希望者の募集活動に積極的に取り組む。

また、長門峡梨組合と山口あぶトマト部会では現地研修生の栽培技術の習得、就農計画の作成、各種支援策を活用した機械・施設整備を支援し、円滑な就農を進める。

防府市においては、防府市柑橘部会および大道レザーファン部会では、高齢生産者のリタイアが増加しており、部会員が産地維持に危機感を持っている。

そこで柑橘部会では園地継承の情報収集・整理などの取り組みを進め新たな受け入れ体制を整備する。

また、大道レザーファン部会では、産地パッケージ計画を検討し、既存生産者への意向調査を通じて今後のハウス利用情報を整理し募集方法や受け入れ体制を整備する。

#### 2 普及活動の内容

##### (1) 人材掘り起こしのための情報共有と広報活動

山口市においては、年4回の新規就農会議が開催されていたが、月1回の実務担当者会議を提案し、より情報共有を図ることとした。

防府市において市、JA、公社、農業部で月1回協議会を開催した。

農業大学校とは年4回、学生と支援塾生と面談し、情報共有した。

ガイダンスへ参加し積極的に募集活動を行った。

また、阿東トマトへの就農希望の学生や塾生には阿東技術部会への参加を部会と調整した。山口あぶトマト就農体験会や山口市就農ゆめツアー（徳佐りんご）を支援した。

##### (2) (農) 徳佐りんご組合の受入体制の拡充

関係機関と連携し、経営移譲を希望しているりんご園と就農希望者とのマッチング研修を支援した。その結果、令和9年の経営移譲が合意され、それまでの研修計画も

決定した。

- (3) (農) 長門峡梨組合の受入体制の拡充と現地研修生の就農支援  
梨組合と連携し、現地研修生の研修を支援するとともに、就農計画の作成を支援した。  
また、関係機関と連携し、産地のPR動画(YouTube)作成を支援した。
- (4) 山口あぶトマト部会阿東支部の現地研修生の就農支援  
部会が実施する技術部会、現地研修会への参加を声掛けした。  
就農計画の作成について3月中旬の審査会を目指し、山口市とともに支援を行った。
- (5) 防府市柑橘部会の新たな受入体制の支援  
部会役員会で、受入体制づくりの合意形成を図り、継承可能園地の情報収集や指導者の検討、経営試算の作成を行った。  
継承意向調査では8件の情報があり、現地や相続の状況を確認して、50アールの園地を継承候補地とした。
- (6) 大道レザーファン部会の新たな受入体制の支援  
全部会員を対象に営農意向調査アンケートを行い、今後のハウス活用状況についての情報を得た。また、経営指標の見直しを部会と共同で行い、現在の実態に即した経営指標を作成した。さらにそれら情報を活用して新規就農者用の紹介パンフレットを作成した。作成したパンフレットは、就農相談イベントでの紹介等に活用した。



就農ガイダンスの様子



募集パンフレット

### 3 普及活動の成果

- (1) 人材掘り起こしのための情報共有と広報活動

関係機関との連携により新規就農希望者の情報の共有化が出来た。

また、ガイダンスへの参加により現地研修生1名、農業大学校との連携により現地研修生を2名確保した。

- (2) (農) 徳佐りんご組合の受入体制の拡充

受入体制の拡充により、経営移譲希望者1名を確保した。また、このマッチングにより他の経営移譲希望園主も興味を持ちつつある。

(3) (農)長門峡梨組合の受入体制の拡充と現地研修生の就農支援

関係機関が連携した受入体制が拡充され、現地研修生1名のスムーズな園地継承が実現するとともに、新たな経営移譲園地と研修生のマッチングも開始されつつある。



現地研修生に整枝剪定を指導



現地研修生に新梢管理を指導

(4) 山口あぶトマト部会阿東支部の現地研修生の就農支援

声掛けにより、ほぼすべての部会の技術部会

- ・現地研修会へ参加された。

定期的に山口市やJ Aと連携しながらハウス建設支援や就農計画作成支援等、就農への支援を行うことが出来た。



部会の現地研修会の様子

(5) 防府市柑橘部会の新たな受入体制の支援

部会として、園地の継承を中心に受入体制を強化することが合意され、引き続き継承可能な園地の情報を集めることとした。

経営試算作成作業を通じて、柑橘経営の収益性を高めるためには、部会員においても「天神みかん」の推進を図る必要性が改めて認識された。

(6) 大道レザーファン部会の新たな受入体制の支援

活動を通じて部会、市役所、農林水産事務所が新規就農受入について定期的に打合せする機会を作ることができた。また、新規就農予定者を1名確保した。

#### 4 今後の普及活動に向けて

今後も生産者組織の受入体制強化を図るとともに、ガイダンスへの参加や月1回の就農会議で情報共有し、新規就農者の円滑な就農に向けて支援する。

また、資材高騰によりハウス代の費用が増加している。就農開始時の施設導入の負担軽減するために、遊休ハウスを活用した就農に向けた体制を整備するとともに、研修体制、栽培支援体制を強化する。